輝く second life

~夫婦の新たな歩み方~

設計趣旨

夫の定年に先立って、妻の趣味である家庭菜園を活かし夫婦でカフェを開くことになった。カフェを通じて今までとは違う地域の交流に期待する。
カフェの新築に伴い住宅部分も新しくなる。夫婦のsecond lifeがより楽しく、より快適なものになるように考え、設計した。

全体

全体計画として、駐車場の確保。農地(野菜畑)の確保と水耕栽培室の繋がり。そしてカフェとの動線。
2階に居住スペースを持って行くことにより、老後のことを考えホームエレベーターの設置。
無駄の少ない動線。

面積表

敷地面積	462.000㎡
建築面積	159.933㎡
1階床面積	151.507㎡
2階床面積	84.466㎡
延床面積	235.973㎡
建ぺい率	34.618%
容積率	51.076%

1階

大きく分けると生活・カフェ水耕栽培室の3つのゾーンになるが、出来るだけ動線が重ならないように考えて配置した。カフェから水耕栽培室の間には食品庫を配置し畑からのアクセスも容易にした。また外倉庫には農機具の収納や、冬期間中のテーブルや椅子の収納に活用できる。

2階

生活のスペースを2階にしたため、1階からのアクセスを老後のことを考えてエレベーターを設けた。
買い物袋や重い荷物の運搬には、体への負担を軽減できる。
また、動線をできるだけ短くして、無駄のないリラックスできる空間を考えた。

カフェカウンター

限られた空間でも客席を確保するためと、入店してからの立体感を出すためにR状のカウンターを中央に配置した。
そのため、接客でのコミュニケーションが取りやすくなった。また、調理するところが直接見えるため、安心して料理を食べてもらうことができる。

カフェテラス

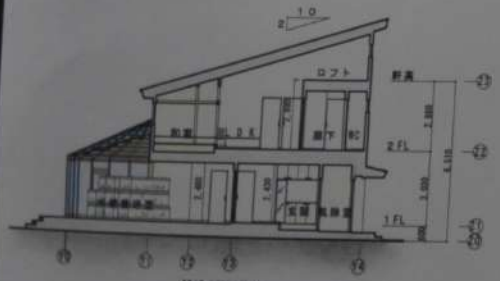
カフェ内とテラスは開放的に続くスペースとした。特に内部テラスは内外との繋がりを自由に演出できるな開口部で構成した。

水耕栽培

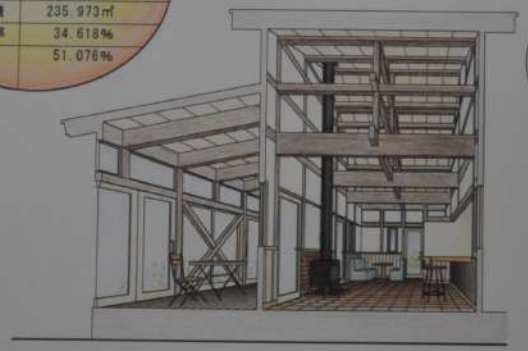
野菜畑では新鮮な野菜を提供することができるが天候に左右されることが多く手間がかかる。
それに比べ水耕栽培は水やりなどの管理が少なく、害虫の被害もないため健康な野菜が育つ。
豪雨や台風などの天候の影響も受けないため安定した収穫が可能である。

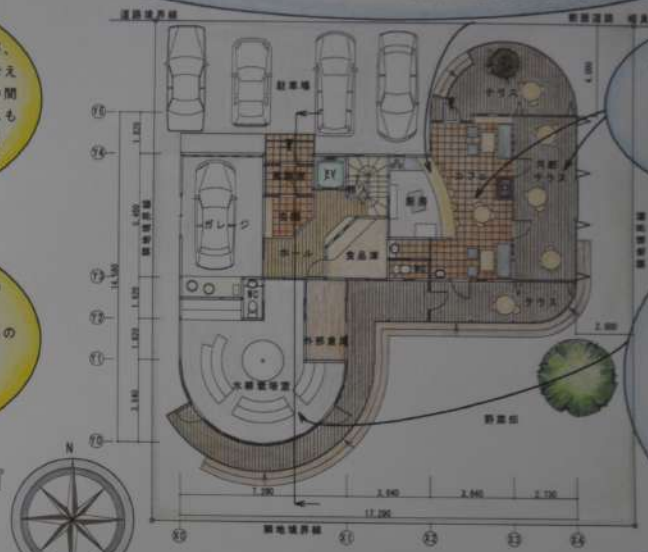
南側立面図 S=1:150

東側立面図 S=1:150

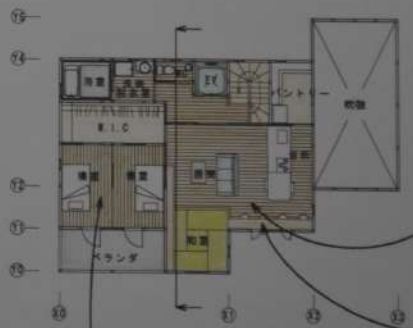


断面図 S=1:150





配置図兼1階平面図 S=1:150



2階平面図 S=1:150

LDK

動線を短くし、移動距離を少なくすることで夫婦のコミュニケーションが取りやすくなる。
また、パントリーを備えたキッチンスペースとダイニングスペースを繋げることにより、家事の仕事がスムーズに楽しくなるようにした。
そして、リビングには小上がりの畳敷きのスペースを設けることにより横になり疲れをとることができる。さらに、畳の床下は収納スペースとして活用することができる。

カウンターテーブル

窓から庭を眺めることができ、野菜畑の生育状態を観察することができる。
また、読書やティータイムなどゆったりとした時間をつくり過ごすことができる。

寝室

入り口はリビング側とWICからの2方向設け中で仕切られている。もちろん引き戸で開放できるが、長年一緒にいるからこそ1人の空間と時間も大切だと考えた。
完全に遮断されている空間ではないためお互いの空気や気配を感じることができるように考えた。

終のすみか